

令和元年度 第1回酒蔵ツーリズム研修
～美酒県 山形の酒を知る～
報告書



はじめに

令和元年度の観光地域づくり支援基金事業では、昨年度に引き続き、「観光人材の育成事業」の一環として、「テーマ別モデル地域選定、研修、ワークショップの開催」を設定した。

全国各地域には、豊富で多様な観光資源が多数存在しており、各地域において、これらの観光資源を活用した取り組みがなされている。こうした地域資源を発掘し、磨き上げるとともに、国内外から選ばれる国際競争力の高い、魅力ある観光地域づくりを促進するために、地域のブランディングが重要であり、その実現のためには、地域の観光資源の発掘、開発、マーケティングが必要であると考えられるため、当協会では平成 30 年度より、テーマ別観光による地方誘客を目指し、「酒蔵ツーリズム」の推進事業に取り組んでいる。

今年度は、酒蔵ツーリズムの推進に取り組むにあたり、各地の事例や酒の特色などを知り、情報交換・検討を行う場として、「酒蔵ツーリズム研修」を開催することとした。

初めての開催となる今回は、「美酒県 山形の酒を知る」と題し、昨年度の酒蔵ツーリズムモデル地域支援事業における山形県の取り組みについて、行政・民間の観光関係者の方はもちろん、酒蔵ツーリズムに興味関心を持つ通訳案内士や翻訳関係者にも参加いただき、その取り組みや状況を紹介した。

1. 実施概要

開催日時: 令和元年 9 月 20 日(金) 12:45~16:00(12:15~受付)

開催場所: 旧醸造試験所第一工場(赤煉瓦酒造工場) 東京都北区滝野川 2-45-9

主催: 公益社団法人 日本観光振興協会

対象者: 各地域の行政・観光協会・DMO 関係者、民間観光事業者、通訳案内士 等

参加費: 日本観光振興協会会員/日本酒蔵ツーリズム推進協議会会員 無料、非会員 1 人 2,000 円

募集・告知: 日本観光振興協会 ホームページ・会員向けメルマガ

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 ホームページ・公式 SNS(Facebook, Twitter)にて告知

募集チラシ(参考資料1)、観光業界メディアへ情報配信

日本観光通訳協会ホームページにて会員に告知

実施テーマ: 酒蔵ツーリズム研修「美酒県 山形の酒を知る」

【セミナー会場】旧醸造試験所第一工場(赤煉瓦酒造工場)



今回のセミナー会場(通称「赤煉瓦酒造工場」)は、独立行政法人酒類総合研究所東京事務所にあった旧醸造試験所第一工場で、明治 37 年の試験所の創設以来、酒類の醸造試験や酒類醸造講習の実習工場として使用されていた場所で、日本酒との関係も深く、明治期の貴重な赤煉瓦建築物として平成 26 年 12 月に国の重要文化財にも指定されていることから、セミナー終了後に施設見学ツアーを実施。多くのセミナー出席者が参加した。

【研修プログラム】

12:15	開場
12:45～12:50	開会挨拶 公益社団法人日本観光振興協会 副理事長 久保田穰
12:50～13:00	「酒蔵ツーリズム概要説明」 日本酒蔵ツーリズム推進協議会(公益社団法人日本観光振興協会) 事務局長 杉野正弘
13:00～13:30	「山形県における酒蔵ツーリズムの取組みについて」 山形県観光文化スポーツ部観光立県推進課 美食・美酒ツーリズム推進室 主査 工藤真紀 氏
13:30～14:40	「山形の酒セミナー」 山形県酒造組合 特別顧問 小関敏彦 氏
14:40～14:50	休憩
14:50～15:50	「利き酒&試食会」 山形県工業技術センター 開発研究専門員 石垣浩佳 氏
15:50～15:55	山形からのご案内
15:55～16:00	閉会挨拶

2. 参加者

<研修参加者>

行政、観光関連団体・企業、酒造関連団体・企業、通訳案内士など 26 名

<山形関係者>

山形県酒造組合 4 名、山形県工業技術センター1 名、山形県観光物産協会 4 名、山形県 2 名

<主催者関係>

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 1 名、日本観光振興協会 6 名

3. 研修プログラム概要

(1)「開会挨拶」

公益社団法人 日本観光振興協会 副理事長

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 副会長 久保田 穰

(2)酒蔵ツーリズム事業概要説明

公益社団法人 日本観光振興協会 地域ブランド創造部 部長

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 事務局長 杉野 正弘

公社団法人日本観光振興協会から、テーマ別観光による地方誘客事業の一環として平成 30 年度より取り組んでいる「酒蔵ツーリズム事業」の概要について説明を行った。



杉野事務局長 プレゼンテーション

(3)「山形県における酒蔵ツーリズムの取組みについて」

山形県観光文化スポーツ部観光立県推進課 美食・美酒ツーリズム推進室 主査 工藤真紀 氏

山形県における酒蔵ツーリズムの取組みについて、工藤氏より説明。



山形県 工藤氏 講演

(4)「山形の酒セミナー」

山形県酒造組合 特別顧問 小関敏彦 氏

山形のお酒の特徴とこれまでの活動について、小関氏より説明。



山形県酒造組合 小関氏 講演

(5)「山形の酒 利き酒&試食会」

山形県工業技術センター 開発研究専門員 石垣浩佳 氏

石垣氏による山形の酒と食(おつまみ)の組み合わせに関する解説と試飲・試食を実施。



利き酒&試食会

(6)「山形からのご案内」

山形県酒造組合 会長/出羽桜酒造株式会社 代表取締役社長 仲野 益美 氏

山形県観光物産協会 福田 直子 氏

福田氏より山形の酒蔵・ワイナリー巡りツアー等を紹介

(7)質疑応答

(8)「閉会挨拶」

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 会長 細野 助博

4. メディア露出

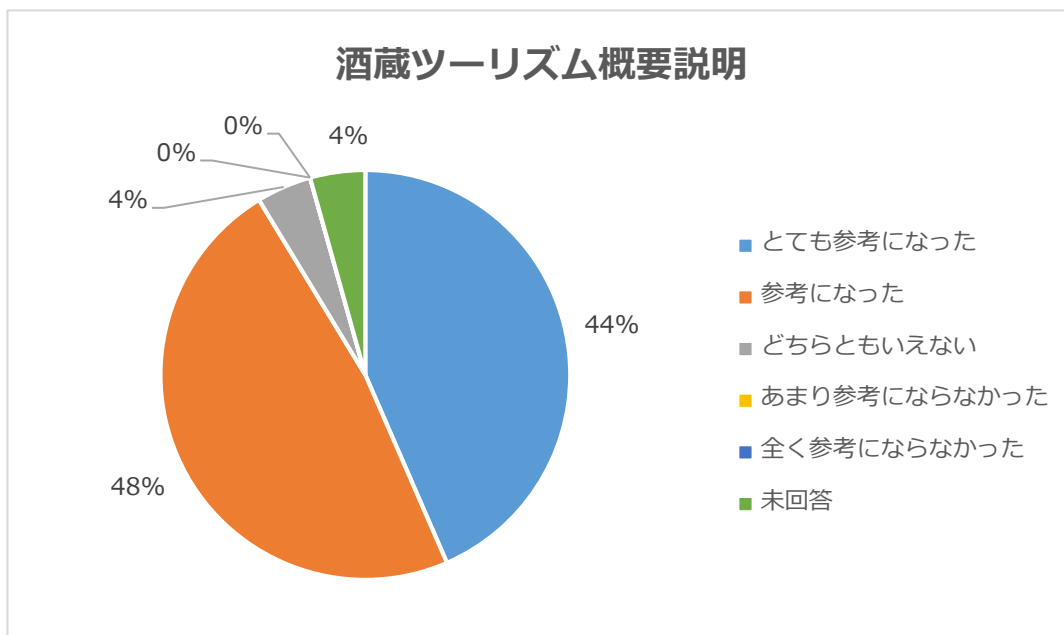
- ・観光業界 WEB ニュースサイト「トラベルニュース at」 8/27 セミナー開催記事掲載

5. 参加者アンケート

参加者に対するアンケートを実施。

各質問項目に関する回答は下記の通り。

① 「酒蔵ツーリズム概要説明」(日本酒蔵ツーリズム推進協議会事務局)についての評価



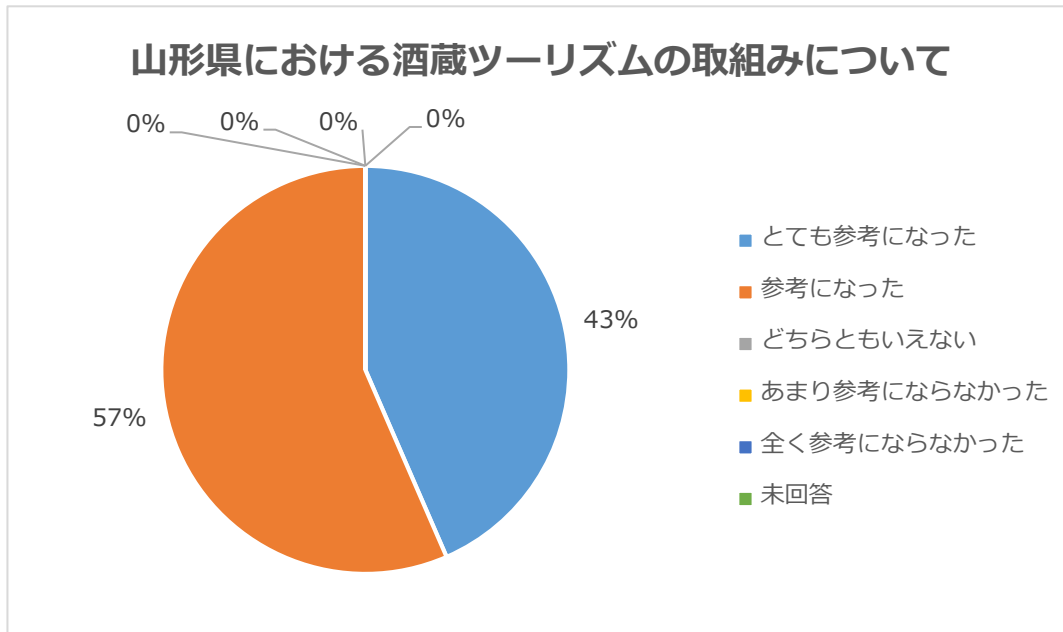
とても参考になった

- ・複数の有識者から多くの示唆に富む話を伺うことが出来た。
- ・概要・内容ともに非常に分かりやすかったです。
- ・次回も楽しみです。
- ・初めて知ったことで、海外市場にも方針として重要するのはとても良いです。
- ・地元の良さも合わせてプロモーションが必要なのだと感じました。
- ・事業内容についてよく理解できた。
- ・組織の活動内容、テーマ、理解できました。

参考になった

- ・インバウンド需要を積極的に取り入れられてると感じました。
- ・地域への足を促進させる需要コンテンツの一つと理解できた。
全国に広めていくことで新たな地域の特色が確立できると思う。
- ・よく理解しているため。

② 「山形県における酒蔵ツーリズムの取組みについて」(山形県 工藤様)の評価



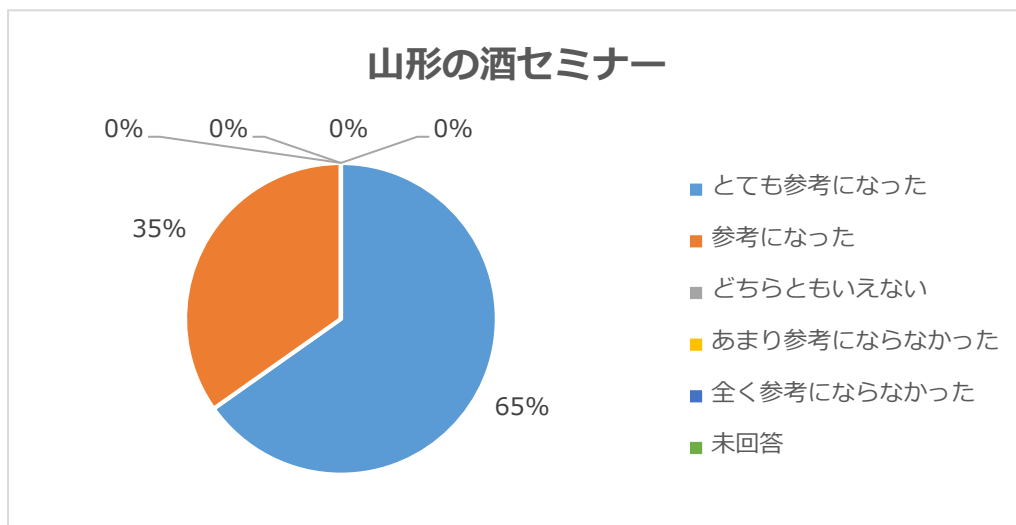
とても参考になった

- ・プレミアム酒蔵ツアーを実施しているので問題点がよく理解できたため。
また、山形ツアーを2回開催したことがあるため。
- ・具体的な取組みについて知ることができ、とても参考になった。
- ・取組事例の紹介だけでなく課題も明確に示されていたので参考になった。
- ・積極的にアピールされていることがよく伝わりました。
- ・山形県にしかない特徴を覚えめました。今後にも利用できるようになります。
- ・山形県の日本酒のプロモーションに対する意識の高さを感じました。
- ・個々の酒蔵にアプローチするのではなく、酒造組合へアプローチすることが有効かつ必要と感じた。

参考になった

- ・酒蔵ツーリズム推進に向けた取組みについてわかりやすくご説明いただきました。
- ・モニターツアーを開催されていて知見を収集されていると感じました。
- ・県の具体的な取組みの提示があり、現状が理解できた。
- ・具体的な事例として参考になりました。
- ・外国人向けの課題が明確で分かりやすかったです。
- ・インバウンドにおける言語対応の中で一般的な英・中・韓以外の言語の重要性を改めて実感することができた。
- ・GIを取得し、県全体を底上げするチャレンジは素晴らしい。

③ 「山形の酒セミナー」(山形県酒造組合 小関様)についての評価



とても参考になった

- ・日本酒の世界戦略の部分が大変参考になった。
- ・山形の酒をよく知ることができました。
- ・種類別の詳細データに基づき、傾向がよくわかった。
- ・深い分析力とデータでの説明があったため。
- ・ユーモアあふれる説明で、学ぶところが多々ありました。
- ・戦略的な事業展開と実行力が大変参考になった。酒についても理解が深められた。
- ・価値が良くわかりました。
- ・色々拝見させて頂き参考になりました。
- ・山形がここまで日本酒に力を入れているとは思いませんでした。
- ・長い時間をかけて取り組みされた結果が実績として残せていることを実感した。
また、更に向上すると感じた。
- ・豊富なデータ、全国、世界での位置づけが理解できました。
- ・山形の日本酒の知名度と地位がわかるようになりました。

参考になった

- ・元県職員でいらしゃったとのことで行政の視点もふまえ酒造組合としての取り組みについて説明いただきました。
- ・単に日本酒全体の動向にとどまらず、どの酒類が売れているのか、また、鑑評会で評価される項目の変化など、細かな情報が得られました。
- ・日本酒を勉強中のため。
- ・データが豊富だった。
- ・データが多く、グラフを入れて説明されて分かりやすかったです。
色々な写真と映像もみれてよかったです。

- ・海外における日本酒のプレゼンス、可能性を感じることができ、山形のみではなくオールジャパンでどのように取り組むべきなのかのヒントを得る大きなきっかけとすることができた。

6. 総評(まとめ)

酒蔵ツーリズムの推進による魅力ある観光地域づくりと各地域への誘客を実現するべく、日本観光振興協会会員および日本酒蔵ツーリズム推進協議会会員のみならず、通訳案内士やその他の観光関係者に対して、各地における酒蔵ツーリズムの取り組み事例や、お酒の特色・知識・および食との組み合わせなどを紹介し、情報交換・検討を行うことは大変有意義であると考えます。

参加者からも同様セミナーの継続開催が強く要望されていることから、事業の継続を前向きに検討したい。

以上